



乗用型5条植えの田植機を見つめる上郷小学校2年生児童

## 小学生の農業見学

稲の植え付けも終盤の6月18日、市立上郷小学校2年生62人が農作業の実際を見学するために八方原地区にやってきました。原地区では田植え作業は済んでいましたが、2年生の学習のために、

# 苗は何からできるのですか

重富享祐さんの水田を特別に用意しておきました。

稲の苗床作りの説明では、児童から質問もありました。私たちが当たり前

と思っていたので、説明を省いてしまっていたこと、「その苗は何からできるのですか」つまり籾が何であるか説明していなかったのですね。児童にとっては何もかもが知らないことです。丁寧な説明が必要でした。

田植機の作業には全員が興味津々。「その機械はいくらするのか」「どのく

らいで植えるのか」「お米はいくらでできるのか」など質問が続きませんでした。

農家の仕事、稲が成長していく様子など、学校の授業では見ることでできないものを見せてあげることは、児童にとって貴重な経験になったに違いありません。

次の週には児童からのお礼の手紙が届きました。お礼の言葉や、機械の動きに驚いたことなどが丁寧な文字で綴られていました。

こうした実際の作業を見ることで毎日口にする食べ物にも、それぞれの命があることを分かってもらえたのではないのでしょうか。

## せきいた 堰板操作にタラップ

上方原バス停前の用水路には、西側に水を導くために堰板が水路に差し込まれるようになっていきます。しかし永年の使用で板の入る溝が傷んでしまい、操作に支障を来してしまいました。また農道からそこに降りるには、かなりの高さがあり、そばの水田に飛び降りることもしばしばでした。



今までは、水路に入って操作したことも

農業用水のくみ上げに合わせ、堰板の補助板を用水路壁面に取り付けました。また堰板操作の際に、誰もが安全に乗降できるようにタラップを設置しました。皆さん、安全にご利用ください。

「夏」の行の事  
 6月半ばには区民の皆様には八方原橋の欄干塗り替えについてご意見をお聞きしました。皆さんからの特段のご意見はありませんでしたので、市の担当課の方に結果を伝えました。

「夏」の行の事  
 市では、1年我慢していただくだけで「申し訳ない」とのことから、橋の橋脚部分のつなぎ目の補修する予定であることを知らせておきました。



「夏」の行の事  
 6月27日に役員会を開き、夏の行事について話し合いました。ふしの夏まつりへの参加や、八方原ふれあい盆踊りについて検討しました。

八方原夏の行事日程

- 7月12日(日) 小郡地区ソフトボール大会
- 7月25日(日) ふしの夏まつり
- ※総踊りへ参加、駐車場は確保しますが、花火見物の場所取りはいたしません。
- 7月26日(日) 樫野川クリーンキャンペーン 子ども会夏期錬成会
- 8月2日(日) 子ども会球技大会
- 8月8日(土) 八方原ふれあい盆踊り
- 8月22日(土) 子ども会廃品回収

小学生の肩揉みに笑顔

小学生の下校時を安全にと、八方原老人会が「見守り活動」始めて2年目になりました。日頃の活動への感謝とお互いの絆を深めるための交流会が5月31日、八方原公民館で行われました。



名前と学年を紹介しました。日頃は顔をあわすことがないので、どの顔がどの子か知るチャンスでした。

感謝の気持ちをお返しにしたいと、今回は見守り隊の肩揉みを行いました。見守り隊の固い肩も表情も、あつという間に揉みほぐれてしまいました。これからも地域のために頑張ってください。

たくさんのご協力に感謝

5月の日本赤十字社、6月は市社会福祉協議会の寄附と続きました。出費多端、景気低迷の折から。ご寄附のお願いは大変申し上げたいところでしたが、地区民の方、事業者の方々、それぞれ主旨をご理解いただき、ご協力くださいました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社寄付金 44,000円  
 市社会福祉協議会寄付金 87,500円

福祉委員 重富久仁子

三つの人種が仲良く暮らすまち

神武さんクチン市からお帰りなさい

なぜ1年間にもわたる海外生活に出られたのですか。  
 — 私自身は海外での暮らしは幾らかありましたし、知らない土地で、様々な方々と接することは楽しみでした。奥様も同じように考えたおられたのですか？  
 — 始めはアフリカの南の国に2年間だとか、私にとっては信じられないような計画を持ち出すので困っていました。その中で一番短期間で、近いのがマレーシアでした。奥さんは何語使って会話を



されていたのですか  
 — 私の片言英語ですよ。単語を並べて、後は身振り手振りでです。でも伝えようと云う気があれば伝わりました。私たちの周りには、中国系、マレーシア系、それに現地の人と3つの人種がいたので、お互いの宗教や考えを認め

あつても仲良く暮らしていました。それぞれの人種には盛大な行事があつて、クチンのまちは殆ど一年中お祭りがあるような気がしましたね。家庭でもパーティーが盛んにあるのですけど、主人には気の毒ですがアルコール飲料は出ないのですよ。そりや残念ですね。じゃ、おしゃべりだけなのですか。  
 — 果物がとっても豊富なので、色とりどりなんでもありました。どれもとてもおいしくて、素敵でしたね。楽しい仲間とおいしい果物や食べ物。こんなパーティーも良かったですよ。

来月号に続く